

美しきエレーヌ

ジャック・オッフエンバック作曲

3幕のオペラブッフア

台本：アンリ・メイヤック・リュウドヴィック・アレヴィ

配役

エレーヌ（スパルタの王妃） ソプラノ

パリス（トロイの王子） テノール

メネラオス（スパルタ王） テノール

アガ멤ノン（ミケーネ王） バス

カルカス（預言者） バリトン

オレステス（アガ멤ノンの息子） メゾソプラノ

トロイ戦争の発端となった、トロイの王子、パリスによるスパルタ王メネラオスの妻エレーヌ（ヘレン）の掠奪を喜歌劇として描いている。エレーヌは白鳥（ジュピター）とレダの間に生まれた絶世の美女である。

第1幕 スパルタの街の広場。ヴィーナスの恋人アドニスの日。

人々はアドニスの命日に神官カルカスのいる神殿に花を献納している。そこへ侍女を従えたエレーヌが登場、「愛を与えてください」と切望する。そこに従兄弟（アガ멤ノンの息子）オレステスが、遊女レーナとパルテニスとともにやってきて、騒ぐ。オレステスが退場するとパリスがヴィーナスからの手紙を持って現れ、パリスの審判の顛末を歌う。エレーヌが出てくると直ぐに二人はお互いにその美しさに惹かれる。そこへ、オレステスとともに、ギリシャの王たち、アガ멤ノン、大アイアース、小アイアース、アキレウス、メネラオスが現れて、ゲームをする。このゲームで勝者となったパリスはスパルタの宮殿に招待される。突然、メネラオスはクレタへ行けとの信託が下り、メネラオスはクレタへと旅立つ。

第2幕 王妃エレーヌの部屋。

パーティを前にエレーヌはパリスを選ぶか夫を選ぶかで悩んで、ヴィーナスの策略を非難する歌を歌う。エレーヌは夢の中でパリスに会わせてほしいとカルカスに頼む。目を閉じるエレーヌの前に、突然本物のパリスが現れ、二人は愛の二重唱を歌う。そこにメネラオスが現れ、王たちも集まる。パリスは負けを認めて、スパルタから立ち去る。

第3幕 トリポリスの海辺

パリスを追放したことを喜ぶオレステス。しかしヴィーナスはパリスを追放したギリシャに復讐するために、全ての妻たちに夫を捨てさせて、ギリシャを歓楽の巷としている。そこに、キュテラ（シテール島、ヴィーナスの島）から神官がやってきて、エレーヌを神官に渡して、キュテラにつれてゆけばヴィーナスは国を救うだろうと予言する。そこで人々はエレーヌと神官をキュテラに旅出させる。しかし、その神官こそがパリスだった。